

平成 25 年度学校教育自己診断結果分析

生徒・保護者の回答意欲を低下させないよう、昨年度まで質問項目を生徒向け 10 項目、保護者向け 12 項目程度に抑制してきた。

今年度は府教育委員会の指導のもと、アンケート項目を大きく見直し、生徒向け 24 項目、保護者向け 18 項目とした。但し、保護者向けは「わからない」を従前どおり選択肢として残した。生徒用は外部の意見を取り入れ「わからない」を「どちらともいえない」に変更した。

昨年度までは「わからない」と回答する生徒は、全項目において 2～3% であったが、今年度は 24 項目すべてにおいて、「どちらともいえない」が約 20%～50% と激増してしまった。保護者向けでは、「わからない」はほとんどの項目で 5% 前後であり今年度も従前と変わらなかった。但し、保護者向けは従前どおり各家庭に郵送する形態をとったにも関わらず、回答者数は 1 割減少した。保護者の回答意欲を低下させたと思われる。アンケート項目数は、本校の実態に合わせ昨年度程度にするべきであった。3～5 割が「どちらともいえない」と回答したため、生徒向けアンケートの信頼度は極めて低くなってしまった。「どちらともいえない」は選択肢として必要かどうか、来年度の実施に向け検討中である。

以下にあげる数値は分母・分子から「どちらともいえない」や「わからない」を除いたものである。

(1) 学校生活全般について

「学校に行くのが楽しい」と回答した生徒は 67.5% (昨年度は項目なし)、「子どもは学校に行くのを楽しみにしている」と回答した保護者は 76.3% (昨年度なし)。来年度は、「楽しい」を「充実している」に変更する。

「成城高校に入学させて良かったと思う」と回答した保護者は 91.3% (昨年度 90.3%)

(2) 教職員の保護者対応

「子どもに関する連絡は適切」「学校に出向いたり電話したとき、教職員の対応は適切」と回答した保護者は、各 91.3%、93.5% (昨年度とほぼ同じ) で、概ね良好な状態が継続している。

(3) 学習指導

「授業はわかりやすく楽しい」と回答した生徒は 48.4% (昨年度「わかりやすい授業が多い」51.2%)。*「わかりやすい」と「楽しい」の 2 重項目質問であり、よくなかった。来年度は「授業はわかりやすい」に戻す。

「授業でわからないことについて、先生に質問しやすい」「教え方に工夫をしている先生が多い」と回答した生徒は各 53.3% 63.8% (昨年度なし)

「子どもは授業がわかりやすいと言っている」と回答した保護者は 58.6% (昨年度なし)

授業改善がいまだ大きな課題であり、各教科で検討させ結果を校長に報告させた。今後改善が期待できる。

「授業は大切だと思う」と回答した生徒は、81.7% (昨年度 84.6%) である。

「評価の仕方や基準について、事前に示されている」「学習の評価については納得できる」と回答した生徒は各 82.8、76.4% (昨年度なし)

「高校入学以前に比べ、子どもさんの学習習慣は良くなった」と回答した保護者は 61.0% (昨年度 68.3%)、中学校時代から学習習慣のある生徒が増加してきている結果であると思われる。

(4)進路指導

「自分の将来について考える機会がある」「卒業後の進路を決めている」と回答した生徒は各 77.6%、72.4%(昨年度「卒業後の進路を決めている」は 65.5%、「卒業後の進路に、成城高校の授業は役に立つ」67.3%)である。

「学校は将来の進路や職業等について適切な指導を行っている」と回答した保護者は 85.2%(昨年度はなし)。一定の成果は出ているが、現在進めている進路指導体制充実を急ぐ。

(5)生徒指導等

「学校では、生活規律や学習規律などの基本的習慣の確立に力を入れている」「社会のルールについて学ぶ機会がある」「学校生活についての先生の指導は納得できる」と回答した生徒は、各 76.8、76.8、38.7%で、生徒指導について生徒が十分には納得していない状況はあるが、他方、「高校入学以前に比べ、子どもの生活習慣が良くなった」「高校入学以前に比べ、子どもの出席状況は良くなった」「学校は子どもさんに社会ルールを守る態度を育てようとしている」と回答した保護者は、各 72.5(昨年度 66.3%)、85.9(昨年度 81.7%)、92.9%あり、確実に本校の取り組みは成果をあげている。今後、生徒指導ルールに緩急をつけるが、基本方針は変更しない。

(6)友人関係

「学校に心を開いて話せる友達がいる」と回答した生徒は 80.3%(昨年度 92.3%)で、より多くの生徒が友人関係を作ることができるよう、ピア・サポート体制を強化する。

(7)情報発信

「学校に出向いたり電話した時、知りたい情報が得られた」「本校から教育活動の内容について十分に情報発信されている」「(メルマガ登録者のみ)本校からのメールマガジンは適切だ」と回答している保護者は各 87.5(昨年度 86.5)、80.0(昨年度なし)、88.9%(昨年度 82.8%)で向上しているが、学校新聞「成城」や、学級通信等の充実を進めることで情報発信を一層 PR 強化する。